

第12回木材活用コンクール

芦北町薩摩街道佐敷宿交流

この事業の目的がまちなみ環境整備にあることで、整備地区の中央に位置する本道の旧料屋を復元することにより、地域の活性化を期待し、景観の保全及び環境整備に努めました。

対象家屋が大正から昭和初期にかけての建物であり、老朽化がかなり進んでいました。改修にあたっては耐震性の確保に加えて、建設当時の雰囲気を残すため、仕上げは基本的に既存を踏襲し、建具についても木製としました。技術的にも軸組の継ぎ手・仕口の補強食物が見えないように埋め込み金物としました。又、外構においても既存の塙木はそのまま残し、それを覆輪とした外構設計としています。このように極力復元の主旨を踏まえた建物としています。

所在地 熊本県芦北町芦北龍太洋佐敷字新町

用途 集会所

竣工年月日 平成20年3月10日

構造 和式木造軸組工法一部洋式木造トラス構造

敷積 敷地 地上 1,441 m²

建築面積 364.16 m²

延床面積 333.20 m²

仕上材

屋根 和風瓦葺き

外壁 漆喰塗

開口部 木製建具

床 黄土タタキ仕上げ

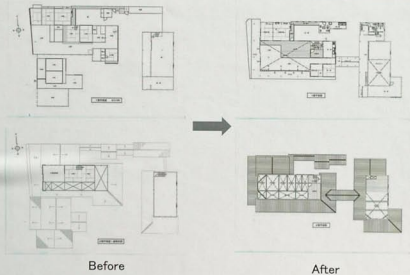
内壁 漆喰塗

天井 小梁組立、保線塗

南西側



南西側



Before

After



西側



北側



内観：土間、板の間の